

令和7年度第2回 鶴岡市地域包括支援センター運営協議会会議概要書

○日 時 令和8年2月19日（木）午後1時00分～午後1時30分

○会 場 鶴岡市勤労者会館 1階大ホール（鶴岡市泉町8番57号）

○出席委員（敬称略）

日向常浩、屋代高志、福原晶子、本間済、土岐喜久、鈴木淳一、
佐藤こず恵、伊藤匡二、富樫恵美子、今井直美、渡部はつせ

○欠席委員 佐藤豊、吉野進

○市側出席者 健康福祉部長、地域包括ケア推進課長、同課課長補佐、同課主査、同課専門員

○公開・非公開の別 公開

○傍聴者の人数 1名

○次 第 令和7年度第2回 鶴岡市地域包括支援センター運営協議会

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 報告・協議
(1)地域包括支援センターの運営法人について
4. その他
5. 閉会

【3. 報告・協議】

(1) 地域包括支援センターの運営法人について

【資料1】に基づいて説明。（事務局）

[委員]

鶴岡地区医師会が地域包括支援センターの運営から撤退する具体的な理由は。

[事務局]

地域における医師数の減少・高齢化など、医療と介護を取り巻く環境が大きく変わってきていることから、鶴岡地区医師会として事業の再編が必要となり、地域包括支援センター業務受託からの撤退の申し出があった。

[委員]

医師数の減少や会員の高齢化が進み、医療と介護を取り巻く環境が変化している。令和9年度から始まる新たな地域医療構想において、在宅医療の充実と医療・介護の連携推進といった新たな課題に取り組むことが急務となっており、医師会として事業の見直しが必要となった。

また、医師会は、平成21年度から、医療系の地域包括支援センターとして「つくし」を運営してきたが、現在は福祉・介護系の地域包括支援センターが充実してきた。

以上のことから、医師会が果たしてきた役割はある程度成果が得られたと判断し、業務受託か

らの撤退を決定した。

今後の対応としては、医師会は令和8年9月までの受託延長に同意し、その期間内に新たな受託法人へのスムーズな移行を図っていききたい。撤退するということについては心苦しく思うが、皆様のご理解をいただきたい。

[委員]

撤退の理由に関しては十分理解できる。

公募の件に関しては、現在、どの法人も人員の確保に苦勞しており、示されたスケジュールの中で、後任の法人が三職種を確保することは難しいのではないかと。「つくし」の担当エリアの人口規模は比較的大きいことから、令和8年7月という年度途中での新法人へスムーズに移行ができるか。

[事務局]

提示したスケジュールは、医師会の意向を踏まえ、受託延長いただける期間の中で設定したもの。人員確保の困難さは承知しているが、まずはこのスケジュールの中でスムーズな移行が図れるよう努めてまいりたい。

[委員]

公募しても新たな受託先が出てこなかった場合、つくしの担当エリアが空白地帯となるのか、もしくは他の地域包括支援センターに振り分けられるのかを伺いたい。また、人員確保のための施策に関して、鶴岡市の予算は十分であるのか、委託金の増額など必要な施策が取られるのかということに関しても伺いたい。

[事務局]

公募という正式な手続きを経た上で、それでも受託先が決まらない場合は、既存の運営法人等と個別に相談を行うことになると考えている。また、予算については、これまでと同程度の予算を計上している。

【(1)についての承認】

事務局の説明のとおり進めることについて諮り、承認された。

【4. その他】

意見なし。